

東京都立高島特別支援学校

掌核だより

令和6年 7月号 東京都立高島特別支援学校 校長 石川 拓 令和6年6月28日発行

■7月授業日は15日間です

校長 石川 拓 1学期が間もなく終わります。

酷暑が続きます。学校生活の中で児童・生徒が元気に学習に取組めるように冷房の使用や水分補給や休息確保、機動的な活動内容の変更などに取組んでいます。ご家庭でも十分な休息・睡眠・朝ご飯をしっかり食べて登校することにご協力ください。

(1) 7月10日(水): 両学部「学年保護者会」

保護者の皆様と1学期の教育活動の報告や課題の 共有を行って、夏季休業期間にご協力いただきたい 事柄や、来学期の教育活動の計画等についてご説明 いたします。どうぞお越しください。

(2) 夏季休業期間中の教員研修 他

7月後半を含む夏季休業期間中は教職員の研修や 諸会議等に活用するとお約束していました。「専門性 向上」の要となる研修を計画しましたのでご報告し ます。教職員も子供たちに負けないよう勉強します。 今夏の「専門性向上」に関する研修の重点です。

- 〇外部専門員活用研修を5回計画
- ○特別支援教育の専門性を外部に発信する研修 と支援会議を実施
- ※校内の若手教員も任意参加
- ○児童・生徒の将来の生活の質向上を目指したキャリア教育研修を実施
- ※昨年度は板橋特別支援学校担当者を招請 今年度は練馬特別支援学校から講師を招聘
- 〇読書活動先進校視察実施

次年度以降は3年でローテーションする研修計画 を増やすなど、教職員が柔軟に使える日程を増やす 研修・会議計画とする予定です。

【夏季休業期間中の研修】基本全教員対象 ●任意

日付	研修内容	講師など
7月22日	自閉症児の特性	外部専門員
7月24日	キャリア教育①	外部専門員
	除菌・清掃作業学習の目	
的と指導法		
7月25日	キャリア教育②	練馬特別支援
高等部進学と職業学科		学校進路指導
	の特徴	担当教員

7月26日	防災対策の実地研修	校内対応
7月29日	7月29日 作業療法士・言語聴覚	
	士・臨床心理士・支援機	4名
器専門家による研修		
7月31日	7月31日 ICT活用	
	教材作成	2名
8月1日 摂食指導・再調理		外部講師
	●施設見学	近隣施設
8月2日	●小中学校人事交流	校内対応
	●読書活動先進校視察	<mark>光明学園</mark>
8月21日	視機能の評価・指導	外部専門員
8月23日 ●特別支援教育普及啓発		外部講師
	(他校教員対象の研修)	
8月27日	働き方改革ワークショップ	外部講師

※7/31~9/1 オンデマンド外部専門員講義動画研修
※7/22~8/31 デイサービス事業所支援会議実施

■高島平三丁目自治会から笹を頂戴しました!

6月6日に防災教育推 進委員会を開催しました。その折に委員のお一 人である高島平三丁目 自治会長様から七夕の 笹をご提供いただける お話がありました。6月 24日に立派な笹をいた だきました。



児童・生徒の思いを書き記した短冊を飾り始めています。自治会の皆様との良いつながりが続きますように感謝と願いを込めて活用させていただきます。 笹飾りが完了しましたらXにポストします。

■学校経営のご報告

前号に続きご報告いたします。

(1)「学習環境整備」

図書室整備と読書活動を柱とした言葉やコミュニケーション学習の充実に取組んでいます。

次の内容は、読書活動充実に取組む教員のチームが構想した内容です。

・壁面展示パネルを導入して大型絵本を配架し、 児童・生徒に分かりやすい空間を作る

- ・マルチメディア図書導入と活用を図る
- ・図書室の蔵書管理等を物流サービスに見立てた中学部作業学習の作業種を開発する
- ・カルタ大会や読書週間等を企画する
- ・重い知的障害のある児童・生徒の学習に活用で きる図書・図書室環境を整備する
- ・「生活」「理科」「社会」の教科学習に活用できる 図書を購入して授業で活用する

この構想はある企業の図書助成への応募申請に向けて作成したものです。プロジェクトの担当教員が一生懸命知恵を絞りました。



これから企業担当者 の視察があります。一 生懸命プレゼンテーションを行って他校との 競合を突破できれば12 月末のクリスマスプレ

ゼントになるはずです。結果は12月に報告します! 選にもれても数年をかけて計画を活かした整備を 進めます。8月2日には光明学園に複数の読書活動 先進校が集まって最新の読書活動を発表する研修会 に参加してきます。

(2)「安心・安全」と「人権」

毎年**「学校造改修要望」**を東京と教育委員会に提出しています。

今年度は10項目の要望を提出しています。優先順位1位2位の事項を下表でご紹介します。

都全体の様々な施設造改修要望の中から判断されます。要望が通らない場合もあります。緊急性を経営企画室から強力に都教育委員会に訴えていきます。 校長も教育庁関係者等に粘り強く要望していきます。

1	児童トイレ 改修	本校舎 1 階と増築棟児童トイレ: 男女が分かれていない。人	
	LXI9		
		権上の配慮から回収を要望す	
		る。	
2	エアコンの	増築棟1階2階の教室用エア	
	更新	コンは修繕で対応しているが	
		故障により教育活動に支障が	
		あり、酷暑下での児童の健康	
		維持のため要望する。	

■中学部第2学年移動教室

中学部主任 主幹教諭 竹田憲功

6月13日(木)~14日(金)茨城県つくば方面へ 行ってまいりました。科学技術や自然に触れ、貴重 な経験を積み重ねることができました。見学先の様 子をお伝えします。

つくばエキスポセンターには国内最大級のプラネ

タリウムがあります。生徒たちは、頭上いっぱいに

広がる星空をそうに観察し、明本の に観察を乗りた。 見ていまる大にあった。 りたました。 りたきもした。 となく は、りた。 は、りた。 は、りた。 は、これでもした。 は、これでもした。



筑波山ロープウェイは、はじめは緊張した面持ちで乗車していましたが、徐々に高さに慣れ、空中を 走る浮遊感も楽しめるようになりました。また、女 体山駅から見る、眼下に広がる大パノラマは迫力満 点でした。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館では、今まで見たことのない生き物との出会いがありました。 映像、標本や剥製の展示などを通して、たくさんのことを知ることができました。また、突如動き出す 恐竜の模型では、リアルな動きと鳴き声でびっくりして立ち止まってしまう生徒もいました。

帰校時は疲れもありましたが、引き締まった表情 に変わっていました。

■いじめ体罰等の防止に向けた取組

生活指導主任 主幹教諭 佐藤しほ

いじめ体罰は子どもの生命や心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を及ぼすもので、絶対に許されない行為です。小学校・中学校・高等学校だけでなく、特別支援学校でもいじめの事例や残念ながら体罰の事例も報告されています。

本校のいじめ体罰等防止に向けた取組みを紹介します。次の3つです。

(1)	いじめ体罰アンケート(本人アンケート)	
	年3回実施	
(2)	いじめ・体罰・自殺防止委員会の開催	
	週1回実施	
(3)	ふれあい強化月間(いじめ防止強化)の実施	
	年2回実施	

(1) いじめ体罰アンケート全都で実施する調査です。

一人一人の児童・生徒にイラストや絵カード等の 分かりやすいツールを活用して、いじめられている か、いじめを見たことがあるかなど、いじめに関す る質問をしています。

児童・生徒からいじめに関して見聞きしているという回答があった場合には、聞き取りを丁寧に行います。調査によっていじめの疑いがあるなどの状況があれば、個別に連絡をいたします。

※今年度の第一回アンケート調査は6月7日~14日に実施いたしました。調査結果を含めて現在のところ、児童・生徒間のいじめは発生していません。

(2) いじめ・体罰・自殺防止委員会 毎週1回月曜日を基本に必ず実施しています。

いじめ・体罰・自殺の芽を早期発見して早期対応 することを目的にしています。

軽微ないざこざや・ケンカなどがいじめにつながる可能性もあります。併せて教員の体罰や不適切な言動も見逃さないよう、学校組織全体で一丸となって取組んでいます。

(3) ふれあい強化月間 (6月と11月) の実施

いじめ・自殺・暴力行為等の問題行動、不登校等 の状況について各学校で総点検を行い、現状や取り 組みの効果検証を行います。

具体的には未然防止や早期発見・早期対応に向けた取組みを教職員一人ひとりが日頃どの程度意識して取組んでいるのかを数値入力により集計し、課題を「見える化」「明確化」しています。

本校は、いじめ体罰等はゼロを維持している現状です。これからも、高島の児童・生徒が健やかに成長していけるよう、いじめ・体罰等から子供たちを守り通していきます。

※上記の取組みに加えて、毎学期ごとに「**進級・卒 業認定会議**」を重ねていきます。

その際に児童・生徒の出席状況を確認しています。 欠席日数が見過ごせない日数になっている、あるい は見過ごせない日数になる見込みである場合には、 登校できない事情を確認しています。

児童・生徒自身の心身の健康上の理由だけでなく、 支援が必要と思われるご家庭の事情等で登校が安定 しないケースについては、外部機関との連携を積極 的に行っていきます。

学校が児童・生徒にとって「勉強する場所」としての役割を果たせているかどうかを重視して、安定した登校を実現するために取組みを重ねています。

■授業紹介「外国語活動」

小学部主任 主幹教諭 藤井 夢

本校では小学部は3年生から6年生、中学部は全 学年を対象に、生活単元学習の中で外国語活動を実 施しています。

4年生から6年生は、年間に各学年3回ずつ、中学生は、各学年5回ずつ、外国人英語等教員補助員(通称ALTと呼んでいます。)を活用し、外国語や外国の文化に触れる機会や経験を重視した学習に取組んでいます。

講師は、Victor Casale(ヴィクター・カサーレ) 先生。明るくて元気な先生の「Hello」の声に、子供

たちも「Hello」と元気に答えています。外国語特有の響きや、英語の音声、ヴィクター先生の雰囲気に外国の空気を感じながら、授業は英語の歌やダンス、英語でのゲームなど、身振りや手ぶりを交えながら子供たちとのやり取りの中で生き生きと進んでいます。



ALTを活用した授業は3月まで予定されています。学習の様子は連絡帳などでお知らせいたします。

■赤塚公園キャラクター募集への取組

小学部主任 主幹教諭 藤井 夢



『赤塚公園開園 50 周年記念 キャラクター大募集!』のイベントに参加し、全校児童・生徒の皆さんからキャラクターのイラストを募集し、各学年から数点の作品を応募しました。作品は、中学部生徒会のメンバーが、学校の代表として赤塚公園サービ

スセンターに届けました。

センター長さんのお話を緊張した面持ちで聞いて いた生徒たちでしたが、マナーよく作品を届けるこ とができました。

キャラクターイラストの作成時、ある学級では、 赤塚公園のスライドを見て「噴水があるね。」「消防 自動車が見えるね。」「木がたくさんあるね。」など、 教員とやりとりしながら、どんなキャラクターにし ようか、考える場面がありました。「あかつくん」「あ かつかレンジャー」「もくもく くん(木が並んでい る)」など、子供たちが考えた素敵なキャラクターの 名前もたくさん集まりました。キャラクターを描く 子供たちの様子から、イメージを膨らませて柔軟な 発想をもって考える想像力の豊かさを見ることがで きました。

キャラクターとして採用された作品は、今後、赤塚公園のキャラクターとしてイラストやグッズとなり利用される予定です。発表は、センター内の掲示の他、公園 SNS、東京五感公園 HP・SNS で行っています。

令和6年度 7月行事予定

スクールバス発車時刻 短縮便11:40 1便13:55 2便15:35

日	曜	全校行事	小学部	中学部	保健
1	月	安全指導日			
2	火				体重測定 (小4~小6)
3	水		小6 移動教室 始 🏺		体重測定(中)
4	木		小 6 移動教室 終		体重測定 (小1~小3)
5	金			中1 校外活動	(0 = 0 = 0)
6 7	土日				
8	月				
9	火	避難訓練(火災)			
10	水		小学部学年保護者会	中学部学年保護者会	
11	木				精神科健康相談
12					
13 14	土日				
15		海の日			
16	火				
17	水				
18	木	給食終 水泳指導 終			
19	金	終業式	全校短縮便下校	全校短縮便下校	
20	土				
21					
22	月	夏期休業日 始			
23	火				
24	水				
25	木				
26					
27 28					
29	1 1			親子施設見学	
30	火			親子施設見学	
31	水			親子施設見学	